



第1号様式(第8条関係)

補助金等交付申請書

令和5年 6月27日

(宛先)
戸田市長

申請者
住所又は所在地 [REDACTED]
氏名又は団体名及び代表者氏名
.(ドットアール) 神尾英美 [REDACTED]

戸田市補助金等交付規則の規定により、次のとおり申請します。

補助年度	令和5年度	補助金等の名称	戸田市共創のまちづくり補助金
補助事業の目的及び内容	専門家を招いた生涯学習事業		
補助事業等の効果	すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する		
補助事業等の対象事業費	62,686円		
補助金額	47,000円		
補助事業等の着手年月日及び完了年月日(予定)	着手	令和5年	7月7日
	完了	令和5年	8月19日
添付書類	1 戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙 2 見積書 3 令和5年度の団体の事業計画書・収支予算書 4 令和4年度の団体の事業報告書・収支報告書 5 会則等の規約、又はそれに類する書類 6 構成員名簿		

第3号様式 (第6条関係)

令和5年6月27日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙 (SDGs 応援事業補助)

(宛先)

戸田市長

団体名 . r (ドットアール)

代表者職・氏名 神尾英美

所在地

事業名	専門家を招いた生涯学習事業		
SDGs の 該当ゴール	No. 4 質の高い教育をみんなに すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯 学習の機会を促進する No. 17 パートナリーシップで目標を達成しよう		
確定前交付の希望	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない	
連絡担当者	氏名	[REDACTED]	
	住所	[REDACTED]	
	電話	[REDACTED]	
	Fax		
	E-mail	[REDACTED]	
ホームページ	https://todasimin.net/group_140/		
設立年月日	令和4年	2月	2日 設立
会員数	6 人		
年会費	0 円/1年間		

団体の目的	市民が知りたい様々な分野について専門家を招いた講演を開催し、地域に根差した生涯学習を推進する
主な活動実績	<p>令和4年9月 性教育講演「知ってるようで知らない思春期世代のココロとカラダ」 場所：上戸田地域交流センターあいパル 参加者：15名</p> <p>令和5年2月 DV・デートDV基礎講座 場所：戸田市ボランティア市民活動支援センター 参加者：6名</p>
これまでの補助金等の援助状況	無し
団体PRなど	<p>生涯学習は、主に3つの理由から必要とされています。 1つ目はスキルや心の豊かさ、生きがいなどの充足を求める学習需要が増大しているため、2つ目はより豊かな人生をおくるため、3つ目は社会や経済の変化に対応するためです。</p> <p>私たちは「正確な情報と最新の知識を気軽に学べる機会を提供する」を目標とし、「こんな講演が近所であつたら嬉しいよね」という思いを形にするため、家事や育児や仕事の合間に少しずつ活動しています。</p> <p>みんなが生まれながらに自由で大切な存在であることを再確認出来る暖かい講演を目指して、お互いを尊重し無理なく楽しく活動しています。</p>

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDGs の該当ゴール: 4. 質の高い教育をみんなに 17. パートナリーシップで目標を達成しよう

事業の目的

生涯教育という言葉を目にする機会が増えました。

子供たちは ICT 教育や消費者教育や性教育など、生きていくうえで大切な知識を学校で受けられるようになり、家庭で質問をされることがあります。

ですが、子供や孫を持つ世代はきちんと学ぶ機会がないまま大人になってしまい、専門家から最新の正しい情報を学びたいと思いつながら、様々な理由から叶わない人が一定数存在すると考えられます。

. r (ドットアール) は講演という形で学習の機会を提供し、そこで得た新しい学びと充実した時間について、家庭や知人に伝えていくことで、学びの輪の波及を目指します。

2 事業の具体的内容

【講師：櫻井裕子】

助産師

現在、地域母子保健事業、看護専門学校非常勤講師を務める傍ら、小中高大学生 & 保護者に性に関する講演を年間 100 回以上行っている。

公社) 日本助産師会安全対策委員

一社) 埼玉県助産師会思春期保健事業メンバー

一社) 埼玉県助産師会思春期保健事業プレコンセプションケアプログラム普及メンバー

埼玉県母性衛生学会理事 等

【講演 (3 時間)】

① 講演 (2 時間)

思春期の子供を持つ保護者が知っておいた方がよい思春期世代の体のこと、心のこと、性のこと

② 質疑応答 (1 時間)

時間が余れば講演終了後の個別相談も可

【協力体制】

スタッフ 6 名 (講師選定・会場選定・会場準備・講演主催・撤収)

喜沢中学校 P T A

喜沢中学校 P T A と共催とし周知活動にご協力いただきます

戸田市公立学校 P T A 連合会の会長会で、市内各校への周知をお願いします

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
6月1日	会場予約・講師スケジュール仮押さえ
7月8日	・r 定例ミーティング
7月24日	講師、スタッフ、喜沢中PTA合同ミーティング
7月	戸田市公立学校PTA連合会 会長会出席
8月上旬	最終ミーティング
8月19日	講演「(仮)Z世代の保護者たちへ」

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

動員目標 50名

夫婦での参加の場合、参加料金は二人で一人分とする。

中高生向けの冊子を配布し、会話のきっかけ作りに利用してもらう。

・寄付目標 3000円

安定的、自立的な運営を実現するために、活動に賛同してくださる方から寄付をお願いします。

・参加者アンケート回収率 目標：60%

・アンケート項目「講演の満足度」目標：80%

・アンケート項目「今日の講演の内容を誰かに話したいと思う」目標：80%

講習の満足度を可視化し生涯学習の必要性を確認する。メンバーで結果を共有し、次の開催に活用する。

安定的、自立的な運営を実現するために、講演の開催費用について戸田市内の企業に協賛のお願いをしていきたい。その際に市民の皆さんの声が後押しとなるのでアンケートに協力してほしい旨を伝え、回収率の向上を図る。

・今後の講演の周知、アンケート項目「次も参加したいと思う」目標：80%

金融教育（学校で行われている金融教育と同じ内容を学び子供に聞かれたときに答えられるようになりたい）、消費者教育（18歳成人で気を付けることを知りたい）、防犯教育（闇バイトの実態を知りたい）、労働教育（ブラックバイトの対処方法や相談窓口を知りたい）、戸田市について（行政サービスや市の取り組みについて知りたい）など、学ぶことで自分も周囲も幸せになれるような講演を準備している旨を伝え、動員数の向上につなげる。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	47,000	
	その他		
自己資金			
会費			
利用者負担金		15,000	夫婦参加 20 組×500 円 単身参加 10 名×500 円
協賛金・寄附		686	
その他			
合 計		62,686	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳
補 助 対 象 経 費	使用料	10,600	上戸田地域交流センターあいパル ホール全体 1,790 円×5 時間 楽屋 130 円×5 時間 音響・プロジェクター 1,000 円
	謝礼金	30,000	謝礼
	印刷製本費	600	コピー代 (2 円×5 枚×60 部)
	消耗品費	20,986	つながる book 14,356 円(アスクル 55 部) チラシ代 3,050 円 (canva50 部) 印鑑代 3,580 円 (楽天市場)
	食糧費	500	講師お茶代
	小 計	62,686	内 訳 補助金申請額 : 47,000 円 自主財源 : 15,686 円
補 助 対 象 外 経 費			
	小 計	0	
	合 計	62,686	